



守口市

# 探究サイクル スキルブック 5つのスキル

守口市教育センター



探究心を解き放ち、思考を装備せよ。



これからの人も  
必見！

こんな人にオススメ！

- 「探究」って何？」と思っている
- 学び方がそもそもわからない
- もっと学びを広げ、深めたい！

学びの冒険が、今始まる…

# もくじ

☆ 5つのスキルの章 ☆



【案内人】 もりもり  
(守口市教育委員会 公式キャラクター)

## 0 はじめに

- ・ 探究への入口
- ・ 探究冒険マップ

## 1 学び方スキルの章

- ・ 学び方スキル
- ・ 学習課題・目標の設定

## 2 探究スキルの章

- ・ 探究サイクル見方・考え方
- ・ 課題設定（問いの立て方）のコツ
- ・ 情報収集のコツ
- ・ 整理・分析で役立つ思考スキル
- ・ まとめ・表現のコツ

## 3 言語スキルの章

- ・ 言語能力スキル ・ 読書スキル

## 4 情報スキルの章

- ・ 情報活用スキル ・ 探究×ICT

## 5 協働スキルの章

- ・ 形態選択スキル ・ 対話スキル

## 付録

- ・ スキルアイテム図鑑、活用ガイド
  - ① 思考属性 ② 学び方 言語 情報 協働属性 ③ 自分流秘伝アイテム
- ・ 探究クエストログ

# 探究への入口

## さあ、冒険のはじまりだ!



### 探究サイクル(一例)

#### 課題設定 (問いを立てる)

・先生が決める、自分で選択、自分が設定等

#### 計画を立てる

・方法、時間、学習形態等

自己の生き方を  
考えていく



サイクルは何度も繰り返す



#### まとめ・表現

- ・自分事としてアウトプット
- ・相手意識をもって(相手にとってわかりやすく)
- ・整理・分析したことをもとに行動



#### 情報収集

- ・教科書、資料集から(正確な情報をできるだけ多く)
- ・必要に応じて他者参照、本・インターネット、生成AI等
- ・観察、実験、見学、調査、探索、追体験等の生の情報も

#### 整理・分析

- ・集めた情報を、まずは自分にとってわかりやすく整理・分析
- ・比較、分解、多面的・多角的等の視点で(思考)
- ・シンキングツールも必要に応じて活用

※各ステップでは、学習の基盤となる資質・能力(言語能力、情報活用能力等)や見方・考え方を発揮させることで“深い活動”に!

※上記のステップはあくまで一例で、例えば創作系では、問いや課題の設定→情報・素材の収集、アイデア出し→設計・構想、試作品の制作→評価、改善 等のプロセスも考えられる。

各ステップでは  
振り返り・評価

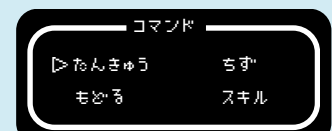
『探究』とは、「なぜだろう?」「もっと知りたい!」等という問い(課題設定)から始まり、情報を集め、それらを整理・分析し、まとめ・表現するまでの一連の学習(冒険)のプロセスです。上の図に示した探究サイクルは一つのモデルで、実際の探究はこの形どおりでなくてもOK。行きつ戻りつしながら、何度もサイクルを回すことで、考えは深まり、視野は広がり、やがて自分自身の生き方にまでつながっていきます。

このスキルブックでは、探究を支える『役立つスキル』を学び方・探究・言語・情報・協働の5つに整理しました。これらはすべて、冒険(探究)に出るあなたのためのスキル装備です。1つだけ使ってもいいし、いくつも組み合わせれば、探究の力はぐっと高まります。探究は、教科の学習の中でも、自由なテーマの学びの中でも使えます。

次のページからは、各ステップのやり方やコツ、思考を広げるヒントがたくさんあります。すべてを覚える必要はありません。冒険(探究)の途中で迷ったとき、困ったとき、もっと深く知りたくなったときに開く地図やコンパスとして、いつでもそばに置いておくことをオススメします。この一冊が、あなたの探究の旅を支える心強いツールとなることでしょう。

さあ、冒険(探究)の入口はもう目の前まで来ています! 準備はいいですか?

ひらけ! 探究のとびら!!



▶探究冒険マップへ

「好き」を育み、「得意」を伸ばす



# 「探究の冒険」へ出発！君だけ



「なぜ？」「不思議!？」「もやもや」「もっと知りたい！」等の好奇心から、冒険の「問い」を立てよう。



大事なのは、「知りたい」気持ち！それが冒険の地図になるんだ。

## ♠ 学び方スキル

主体、対話、深い の3つのスキルを手に入れて学びの冒険へ出発だ！自分に一番合う学び方を冒険の中で育てていこう！！



## ① 課題設定の山

### ♠ 課題・目標設定スキル

チャレンジゾーンで挑戦を！簡単すぎず、難しすぎない課題(目標)が成長のカギ！！



## ④ まとめ・表現の空

発見したことや自分の考えを相手に伝わるように自分の言葉で発表しよう。



### ♡ 対話スキル

他者との対話では、当事者意識を持って自分の意見を形成しつつ、違いを大事にし、よりよい結論をつくる(合意する)ことが大事！その中で新しい考えやアイデアが見つかる！

## ③ 整理・分析の川

集めた情報を比べたり、分けたり、多様な視点で考えたりして関係性やパターンを見つけ出そう。

集めた情報を整理するときは、見方・考え方を働かせよう！思考属性のアイテムも便利だよ！



### ■▲● 思考整理スキル

## ♣ 言語

話す、聞く、書く、読むと役立つスキル

『失敗≠もうまくいかなくてもあわてず、少しやり方をり、1つ前のプに戻って誰かに相談してみよう』

マンガでわかる！  
『もりもりの探究冒険記』  
はコチラ▽



# 学びの地図を手に入れよう

## ② 情報収集の森

本やネット、人への質問など、様々な方法で冒険の手がかりを集めよう。

情報収集の基本中の基本は教科書から。まずは短時間で正しい情報を教科書から集めよう！



### ◆ 情報(デジタル)スキル

情報収集やまとめ・表現等をパワーアップさせる道具！

### ♣ 読書スキル

本の読書のコツから自分に合う読書術を見つけ、自己成長と豊かな人生へ！

### 発表スキル

発表のときに自信を持って！

発表の時は言語スキルや発表の仕方のチェックリストも役立つよ！自信を持って伝えよう！

自己成長だけでなく、新しいことに挑戦して変えたステップを積み重ねて、自信を持って！

サイクルは何度も繰り返す！

学びはどんどん深くなっていくよ。

### 個人探究

### グループ探究

### ♡ 形態選択スキル

一人でじっくり？ペアで相談？グループで協力？目的に合わせて最適な学び方を選ぼう！

探究の冒険で身につけた力は一生モノの宝物！興味のあることや得意なことは何度でも挑戦してみよう！探究を繰り返すと君の学びはもっと深く、広くなっていくよ！



# 自己成長するための学 ～“学び”の冒険の主人公

「学び方」が身に付けば、一生モノ！ここでは学び方のスキル(視点  
色々試しながら、最終的には自分に合う学び方を見つけていきます

☆学び方スキルは一人一人合うものが違います。また、課題のレベルや状況によっ

## 思考を深めるスキル

自己  
他者



習得・活用・探究サイクルで思考と  
行動を行き来させ、思考を深める  
視点や考え方を持つことで、知識  
が確かになったり、視野が広がっ  
たり、理解が深まったり、新たな  
価値を生み出したりします。



### 【例】

- ・情報活用能力も発揮しながら情報収集する
- ・教科等で働かせた見方・考え方(比較、分解⇔統合、多面的・多角的、五感、分類、関連付け、構造化等)で整理・分析する(必要に応じてシンキングツールも活用)
- ・自分の考えを持つ(本質的、クリティカルに評価)
- ・学びを誰かに説明する、教える
- ・学んだことを要約する、レポートにまとめる
- ・学んだことを使ってみる、応用・適応問題に取り組む …等

## 主体的に学習するスキル

自分事として粘り強く取り  
思考や行動を客観的に把握  
認知)し、状況に応じて調整  
この繰り返し学びを習慣  
効果も上げ、自分の人生を  
切り拓く力になります。

### 【例】

- ・目標(好きな事、得意な事、やる)
- ・計画(学習過程・時間・方法・内)
- ・毎日行えるレベルで行い習慣化(し
- ・定着まで繰り返す) ・リラックス
- ・モチベーションの上げ方を知る
- ・集中する時間帯、方法、環境等
- ・緩急をつける(間隔を空けて学習
- ・失敗⇔学びと認識し次に繋げる

3つのスキルを使ってみて、それらが発揮できたかを振り返っ  
させていきましょう。うまくいったこと・いかなかったことを3つ

初心者  
習得・定着



失敗は次につながる  
ための「学び」!

一人  
わかる

学び方スキルを  
知っている

学び方スキルを  
どれか使ってみる

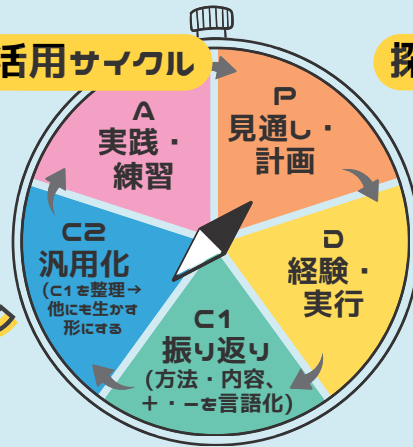
学び方スキル  
を一通り  
使ってみる

学び方スキル  
をバランス  
よく使ってみる

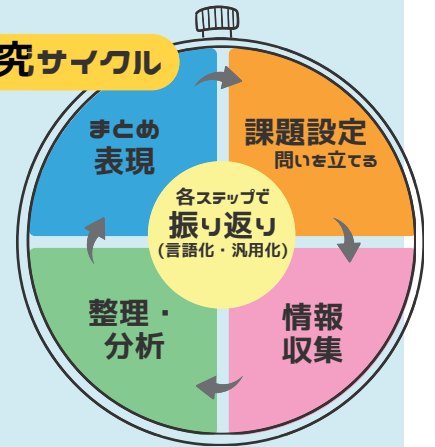
どんな時にどんな  
学び方スキルを  
使えばよいか  
なんとなく  
わかってくる

# 学び方スキル 公はアナタ!!

## 習得・活用サイクル



## 探究サイクル



ヒント)を紹介し、実際に授業・家庭学習(冒険)をする中で、  
よう。学びの冒険の主人公はアナタです！めざせ伝説の学習者！！  
ても変わるので、自分で判断し、カスタマイズさせて使い分けることが大切です。

### 自己

自己



組む中で、  
(メタ  
整します。  
化させ、  
自分で




べき事)や課題意識を持つ  
内容等)を立てる  
きなり難易度を上げすぎない、  
スの方法を知りうまく休む(睡眠)  
(まず行動→やる気は後から)  
を調整して学習  
習、トピックを変えながら学習等)  
すぐ諦めない) ...等

### 他者と協働するスキル

他者



他者との協働・対話等により、学びが  
広がったり継続しやすくなったり  
(学びの支え)、共通理解が見出せ  
たり解決につながったり、新たな  
ものを創造できたりします。



#### 【例】

- ・わからないところは聞く、助けてもらう(クラスメイト、大人)
- ・困ったときに助け合う ・はげまし合う ・アドバイスし合う
- ・話し合う(言語能力、コミュニケーション能力を發揮)
- ・傾聴・敬意の姿勢を持つ ・議論する ・評価し合う
- ・お互いの得意を生かして一緒に作成する(協働)
- ・情報を協力して集める ・新たな価値やアイデアを見出す
- ・多様な意見を合意に導く(合意形成、対立を乗り越える)

...等

ったり自己評価したりしながら学習し、少しずつスキルアップ  
のスキルに整理して分析することで、成長につながっていきます。

### 前！ 獲得



昨日の自分  
より成長

振り返り等から  
自分に合う  
学び方が  
わかってくる

手引きがなくても  
学び方スキルを  
発揮しながら  
学習できる

### 熟達者 使える・感得



伝説の学習者へ!!  
人生は続く!

学び方スキルを  
それぞれ説明でき、  
人にも教える  
ことができる

学び方スキルを  
状況に応じて  
バランスよく  
使える

感覚的に自分  
なりの学び方  
スキルを  
発揮できる

「生き方」も豊かに!

# 学習課題・目標を ～自分の成長のため

学習の初めに設定することが多い「学習課題・目標」…自分がどこに向かって頑張ろうとするのかをどう設定するのかによって、自分の成長度合い（結果）も大きく変わってきます。簡単すぎても難しすぎても△…今の自分にとって適切な「チャレンジゾーン」を見極め、設定しましょう。自分の成長のために、あなたはどこをめざしますか？

困惑ゾーン  
(ストレス・疲労)

## 『チャレンジゾーン』

コンフォートゾーンを一步ぬけ出し、新しい知識やスキル等を習得するための挑戦ができる領域のことです。適度なプレッシャーや困難に直面しながらも、成長につながる経験を積める領域です。しっかりと目標を立てて、チャレンジする中で試行錯誤したり協力したりして乗り越える経験（プロセス）では、失敗しても成功しても、あなたにとって全て重要な「学び」です！

チャレンジゾーン  
(脳・身体)

## 【高チャレンジゾーン】

ストレス負荷は高めで高成長が期待できます。

## 【低チャレンジゾーン】

ストレス負荷、成長率は低いですが、伸びています。

※高・低どちらがよいというわけではなく、今の自分の状況に合わせて適切に設定をすることが大切です。

※適切な休息も取り入れることで、次回チャレンジするための活力もチャージされます。

コンフォートゾーン  
(安心)

# を適切に設定しよう!

## に、どこをめざす? ~



難しすぎ  
無理すぎ



高  
（負感が過多）

高



ボーイゾーン  
（本フル回転）

低



ちょっと頑張ったら達成できるかも

新しいチャレンジをしてみよう!

誰かと一緒なら解決できそう!  
がんばれそう!



簡単すぎ  
ヒマ

オートゾーン  
（安心領域）

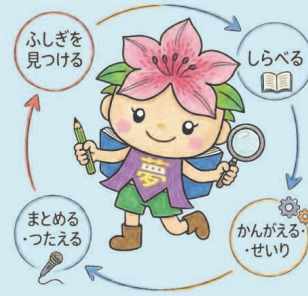


# 探究サイクルで働かせ ～より深い学びへ到達するた

ステップ	働かせる主な『見方・考
<b>①課題設定</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疑問や関心を見いだし、探究したい問いを立てる (問題発見・課題設定)</li> <li>・ 課題の背景や重要性を考え、探究する価値を判断する (分析・判断)</li> <li>・ 探究の全体像を捉え、学習過程・目標・方法等の計画を立てる (計画)</li> </ul>
<b>②情報収集</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題解決に必要な情報や資料の種類を考える (情報特定)</li> <li>・ 可能な限り様々な方法で情報を集める (情報収集・調査)</li> <li>・ 信頼できる情報源を選んだり、情報の出どころ等を確認したりする (情報信頼性)</li> <li>・ 集めた情報が信頼できるか、偏りがないか等を判断する (情報評価・批判)</li> <li>・ 必要な情報を正確に読み取り、記録し、整理しながら集める (情報読解)</li> </ul>
<b>③整理・分析</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図や表、グラフなどを用いて視覚的に整理する (視覚化)</li> <li>・ 情報の中から共通点や相違点、関係性を見出す (比較・関連付け)</li> <li>・ 根拠をもとに情報を分析し、意味や傾向を読み取る (分析・解釈)</li> <li>・ 批判的な視点で情報を吟味し、多面的・多角的に検討する (批判的考察)</li> <li>・ 論理的に思考し、仮説を立てたり、検証したり、結論の方向性を見出す (論理的思考)</li> <li>・ 集めた情報を、わかりやすく分類・整理する (分類・整理・要約)</li> </ul>
<b>④まとめ・表現</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最も伝えたいこと (主題) を明確にして表現する (主題設定)</li> <li>・ 根拠を示しながら筋道立てて説明する (論理的思考)</li> <li>・ 探究を通してわかったことや自分の考えをまとめる (要約・統合)</li> <li>・ 相手や目的に応じてわかりやすく、効果的に伝える方法を考える (伝達力)</li> <li>・ 伝えたい内容に合わせて表現方法 (言葉づかい、デザイン等) を工夫する (表現)</li> </ul>
各ステップで(必要に応じ) <b>☆振り返り・評価</b> <b>・改善</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他者との途中段階を交流し、相互にブラッシュアップする (調整力・改善)</li> <li>・ 自身の探究サイクル全体や各ステップについて、客観的に振り返る (振り返り)</li> <li>・ 設定した課題に対してどの程度解決・理解できたか自己評価する (課題達成度)</li> <li>・ 探究を通して、どのような知識やスキル、考え方が身についたか自覚する (自覚)</li> <li>・ 探究活動における自分の役割や他者との関わりについて考える (役割認識)</li> <li>・ 学びを今後の学習や生活にどう生かすか考えたり、状況に応じて学習方法を調整する (学習方法調整)</li> </ul>

※ここで示している見方・考え方等はあくまで例であると同時に、漏れなく重なりなく列挙するものではなく、お

# 『見方・考え方』 のための捉え方・思考のヒント～



『見方・考え方』	具体例
(定)  (見直し・計画)	理科：「なぜ冷たいコップの周りには水滴がつくの？」など身近な現象への疑問から問いを立てる（探究テーマを決める） 社会：地域の課題について、自分たちの探究が地域にとってどのような意味をもつか話し合う 全教科：探究の全体像を捉え、探究活動にかかる時間や場所、役割分担等を決める。
(情報選択・出典) (批判的思考・ファクトチェック) (整理・記録)	算数・数学：課題解決に必要な数値を教科書や資料から抜き出す 生活・総合：地域の店や人に話を聞いたり質問したりする（インタビュー、アンケート等） 社会：図書館やインターネットで地域の統計データや文献を調べる 理科：天気と気温の変化を観察し記録し、気象庁の過去のデータも収集する 外国語：外国文化についてインターネットの記事や動画等で情報を集める
(思考・多面的多角的) (話し合ったりする (論理的思考・推論・判断))  ※『汎用的な見方・考え方』も役立ちます。	理科・数学：データをグラフ化し傾向を読む 国語：複数資料を比較し筆者の主張を分析する 社会：多面的・多角的に分類して似ているところや違っているところを見出す 家庭科：集めたレシピを栄養素ごとに分類し、比較する 総合：アンケート結果を表やグラフで整理し、特徴を見取る
(方法の選択) (表現工夫・創造性)	社会：調べた内容を模造紙にまとめ、壁新聞を作成する 国語：環境問題についての意見文を書く 理科：実験結果をスライド・レポート等にまとめて発表する 外国語：スライド等にまとめてスピーチで発表する 技術・家庭科：レポート・ポスター・ウェブページなどで表現する 図画工作・美術・音楽：探究したテーマを作品で表現する
(改善・成長志向) (振り返り) (達成度・評価) (自己理解・メタ認知) (自己理解・他者理解) (等)を調整する(学びの活用・展望・調整)  ※『汎用的な見方・考え方』も役立ちます。	全教科：途中段階で発表を聞き合い、互いに工夫点を取り入れて改善に生かす 算数・数学：問題が解けなかった理由を振り返り、考え方のどこに課題があったのか自己評価する 国語：作文の推敲過程を振り返り、工夫した点や難しかった点を評価する 総合：グループでの探究活動を振り返り、活動の役割や貢献度、他者との関わりについて考え、評価する 体育・音楽：技能の習得度を自己評価し、今後の課題や次回の計画を立てる 特別活動：委員会活動での自分の役割や貢献を振り返り、自己評価する

互いに関わり合うものです。



# 課題設定 「問い」の立て方

## ～よりよい学びのスタート!～

### どうして「問い(課題)」を立てるの？



#### ○疑問と問いのちがい

疑問…頭の中にわいた“ふしぎ”や“わからないこと”

質問…誰かに答えを聞いてすぐに解決したいこと

問い…疑問や質問を出発点にして、「もっと深く知りたい」「自分で調べ考えたい」(課題) 「解明したい」「解決したい」等と広がっていくもの(探究の起点!)

#### ○問いで広がる学び

同じテーマでも、人によって立てる問いがちがう。

いろんな問いが集まると、多様な視点で協力して学ぶことになり、一人ではたどり着けない発見が生まれる。

友だちや先生、地域の人と一緒に考えると、学びはより豊かに。

☆「問い」はただの“わからない”を超えて、“みんなで考え、未来をつくる学び(コラボレーション&イノベーション)”の出発点になる!!



### よい問いってどんな問い？

よい問いの3つの視点・コツ

#### ①大事か？(意義や魅力等)

—自分やみんなの生活・学び・社会・自然に関わりがあり未来につながる  
(例：これから…？もし○○がなかったら？等と考える)

#### ②できそうか？

—自分たちの力で調べたり考えたりして、答えや手がかりを見つけられる  
(例：大きい問い→身近な問いへ変換してみる)

#### ③続けて考えられるか？

—すぐに終わらず、いろんな考え方や見方で深められる  
(例：立場や視点を変えて考える)

## 課題設定 で働かせる主な『見方・考え方』

- ・ 疑問や関心を見だし、探究したい問いを立てる (問題発見・課題設定)
- ・ 課題の背景や重要性を考え、探究する価値を判断する (分析・判断)
- ・ 探究の全体像を捉え、学習過程・目標・方法等の計画を立てる (見通し・計画)

### 1 2 3 「問い」の立て方3ステップ+α

#### ① 気づく (問いのタネを見つける)

日頃の疑問や小さな気づきをそのまま出発点に！以下の視点をヒントに！

- a 疑問・不思議：「なぜ？」「どうして？」
- b 理解できない：「よくわからない」「どういうこと？」
- c もやもや・違和感：「なんだか変」「もやもやする」
- d 興味・関心：「もっと調べたい」「考えたい」
- e 感動・共感：「すごい！」「感動した！」

→ 付箋やノートに書き出して可視化すると、後から交流や整理がしやすいね！



#### ② 広げる・深める (問いを育てる)

気づきを多面的・多角的に広げ、仮説や理由を考えて深める。

広げる：仲間と共有、対話をして、視点を変えて問いを増やす

深める：「調べればすぐわかる問い」と「探究にふさわしい問い」を分ける

仮説を立てたり、資料のあたりをつけてみる

立てた問いの理由やきっかけを掘り下げてみる

#### ③ しぼる (探究の問いを決める)

よい問いの3つの視点・コツで、実行可能で意味のある問いを決める。

#### +α 興味・関心を広げるヒント (問いのバリエーションが増えるきっかけ)

【例】 i 体験する ii 先人・社会に触れる iii 対話する 等

#### 「問い」の例 (教科書バージョン)

- ◎ よい問い 「なぜ登場人物はこの行動をとったのだろうか？」  
(大事か？=人物像やテーマ理解につながる／できそうか？=本文の根拠から考えられる／続けて考えられるか？=心情・背景・作者の意図など多角的に広がる)
- △ 「主人公の名前は何か？」  
(答えは一瞬で終わる。それだけでは深める学びにはつながりにくい。)

#### 「問い」の例 (自由テーマバージョン)

- ◎ よい問い 「給食の残りを減らすには、わたしたちにどんな工夫ができるだろうか？」  
(大事か？→身近で意味がある／できそうか？→自分たちの行動を変えられる／続けて考えられるか？→量、メニュー、配り方などいろんな工夫が考えられる)
- △ 「今日の給食はおいしかった？」  
(その場で答えが出て終わり。それだけでは持続する学びにはなりにくい。)



インプット

# 情報収集のコツ

～正確な情報を様々な手段でたくさん集める～

## 情報収集の基本の流れ

課題設定で見通しを立てたうえで、以下のステップで情報を集めよう！

### ①情報の手がかりをさがす

→まずは『教科書』が基本！しっかりと内容を確認

### ②可能な限りいろいろな方法で調べる

→本、インターネット、人、観察、調査、追体験、実験等

### ③記録をとる

→メモしたり、図・表で整理しながら集めたりします

※次のステップ「整理・分析」の準備なので、情報は簡潔に集めます

▷『整理・分析』のステップへ

※情報収集と整理・分析は場合によっては行ったり来たりします

## グラフ・表の読み方のコツ



- ・ **タイトルを見る** → 何についてのデータか、いつのデータか
- ・ **軸・単位を確認** → 縦軸・横軸は何を表すか、単位は？
- ・ **グラフの形を見る** → 増減や変化が大きい部分は？
- ・ **読み取れることを書き出す** → 数字や言葉で具体的にまとめる
- ・ **文章と結びつける** → グラフ・表などの資料が文章のどの部分と対応しているのかを確かめる

## 情報収集で働かせる主な『見方・考え方』

- ・ 課題解決に必要な情報や資料の種類を考える（**情報特定**）
- ・ 可能な限り様々な方法で情報を集める（**情報収集・調査**）
- ・ 信頼できる情報源を選んだり、情報の出どころ等を確認したりする（**情報源選択・出典**）
- ・ 集めた情報が信頼できるか、偏りがないか等を判断する（**情報評価・批判的思考・ファクトチェック**）
- ・ 必要な情報を正確に読み取り、記録し、整理しながら集める（**情報読解・記録**）

### 情報収集の主となるリソース

#### ☆教科書（基本中の基本！短時間で濃い情報収集）

- ・ 目次、見出し、太字、図表、写真、コラム等を確認し、全体を捉える
- ・ グラフや写真から具体的な数字や言葉をメモ
- ・ 文章と図表・写真をつなげて（関連づけて）理解
- ・ 気になる情報は本やインターネットで補足



### 教科書以外の情報収集のリソース

#### インターネット

- ・ 検索ワードを工夫（キーワードをしぼる、組み合わせる）
- ・ 情報の出どころを確認（誰が書いた？いつの情報？根拠は？等）
- ・ 生成AIも含め、情報の信頼性は必ず確認



#### 図書館の本・資料集

- ・ 教科書の用語をさらに深める
- ・ 地図・写真・年表など視覚的な情報を活用
- ・ 発行年を確認する（古い情報なのか、新しい情報なのか）



#### 人に聞く（先生・友だち・家族・地域の人）

- ・ 本やインターネットにない“生の声”が聞ける
- ・ 質問は「はい・いいえ」で終わらないように工夫を



#### 観察、実験、見学、調査、探索、追体験等(リアルな学び)

- ・ 実際に見たり、やってみたり、試したりして確かめる
- ・ 五感で得られる感覚的な情報も大切な情報のひとつです



### よりよい情報収集のコツ（参考になる視点）

- ・ **メモの工夫**：事実と意見を分けて書く、出典も書く
- ・ **多面的に集める**：1つの資料だけで決めつけない
- ・ **信頼性を確かめる**：誰が書いた？いつの情報（発行年月日）？根拠は？

スループット



# 整理・分析に役立つ思考スキル

## ～思考を深めるための見方・考え方～

思考フロー



課題設定

なぜ？不思議!?もやもや、○○がよくわからない、もっと調べたい・考えたい、感動した...等)



インプット

本、ネット、動画、音声、他者、体験・経験等からの情報収集



スループット

情報の整理、分析  
※以下の汎用的な見方・考え方が便利！



アウトプット

話す、書く、表現、創作、行動等

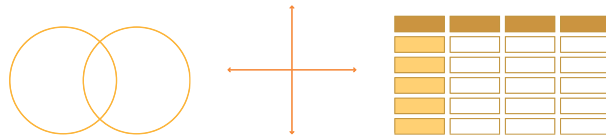
各ステップでは... 振り返り・評価・改善

## 比較

…比べる



**同異点整理**：複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする。



**分類**：共通点に注目してグループ分けする



**関連付け**：複数の対象がどのような関係にあるかを見出したり、ある対象に関係するものを見つけて増やしたりする。



**傾向分析**：表やグラフ、数値や事例を比べて、共通するパターンや変化の法則等を見つける



## 分解(⇔統合)

…細かく分け

**順序付け**：物事の手順や考え方を考える



**抽象化**：対象の中から大まかに取り出してみよう



**具体化**：対象に対しての概念の要素に分けてみる

**構造化**：考えを構造的(体系的)にする



**理由付け**：対象の理由や予想したりする



※本資料は小・中学校学習指導要領解説「総合的な学習の時間編」における『考えるための技法』をもとに作成した。ここで示しているスキルはあくまで例であると同時に、漏れなく重なりなく列挙するものではなく、

## 整理・分析 で働かせる主な『見方・考え方』

- ・ 図や表、グラフなどを用いて視覚的に整理する（**視覚化**）
- ・ 情報の中から共通点や相違点、関係性を見出す（**比較・関連付け**）
- ・ 根拠をもとに情報を分析し、意味や傾向を読み取る（**分析・解釈**）
- ・ 批判的な視点で情報を吟味し、多面的・多角的に検討する（**批判的思考・多面的多角的**）
- ・ 論理的に思考し、仮説を立てたり、検証したり、結論の方向性を見出したりする（**論理的思考・推論・判断**）
- ・ 集めた情報を、わかりやすく分類・整理する（**分類・整理・要約**）

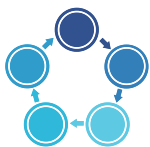
☆整理・分析は次のステップ（まとめ・表現）のための準備!まずは**自分にとってわかるように**整理・分析しましょう!

☆思考ツールを使う時は、**目的を持って**（なぜそれを使っているかを考えて）使いましょう!

## 合) 整理する(⇔まとめる)



順序、段階を整理して

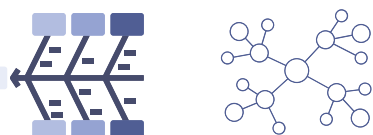


01  
02  
03  
04

大事な要素や法則、原理等  
まとめる

具体例を挙げるなど下位  
分けたり、くわしく説明し

網構造、層構造等)に整理



原因、根拠を見つけたり  
する。


ともに、3分類に整理・追記したものです。

お互いに関わり合うものです。

## 多面的・多角的 …多様な視点で考える



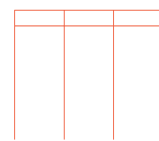
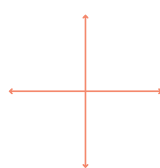
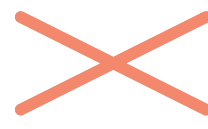
**五感**：五感(見た目・音・におい・触感・味 等)  
を通して考える

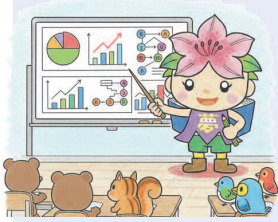
**多視点**：多様な立場や役割、観点等を通して考える  
(例：当事者・相手・第三者、過去・現在・未来、  
賛成・反対 等)

**置き換え**：「もし～なら?」「簡単な数なら?」等、  
場面や条件を変えて考えやすくしたり、  
考えを広げたりする

(例：簡単な場合で考える、ルールを変える、スケール  
(規模や大きさ)を変える、自分事で考える 等)

**教科の見方・考え方**：各教科の視点で捉える





アウトプット

# まとめ・表現のコツ

～整理・分析した情報をうまく相手に伝えるために～

## 『まとめ・表現』の目的って？

### 上手に・わかりやすく < 行動・感情の変化・ゆさぶり

まとめや発表のゴールは、「上手に・わかりやすく伝える」だけではありません。学習においては**聞き手に「へえ！」「やってみたい！」「考え直したいな」といった行動や感情の変化（ゆさぶり）を起こす**ことこそ、最も重要な目的です。

なので、**自分の言葉で伝える（書く、表現する）ことが何よりも大切**です。調べたことをそのまま切り貼りしてまとめる、原稿の単なる発表や説明等ではなく「聞き手の次の行動や気持ちを動かすきっかけ」をつくることを意識しましょう。

## アウトプットの種類（例）

### 行動系

プレゼン・実演・話し合い・ディスカッション・実践 等



### 研究系

新聞・レポート・論文・報告書 等



### 創作系

作品・表現・ウェブサイト 等



## よりよい『まとめ・表現』のコツ

相手に変化・ゆさぶりを起こすためのコツには、次のようなポイントあります。これ以外にも、自分で見つけたコツはどんどん書き足してみよう！

- ・ **シンプルに伝える** …キーワードや短い文でまとめ、聞き手に余白を残す。
- ・ **強弱をつける** …声の大きさやスピード、スライドの構成等にメリハリを持たせる。(例：大事なところは少し声を大きくゆっくり話し、説明部分は普段の声でテンポよく進める、「文字だけのページ」「図や写真中心のページ」を交互にする 等。
- ・ **問いかけを入れる** …聞き手が自分ごととして考えられるように、質問を入れたり、クイズにしたり、余白を入れたりする。
- ・ **具体例や体験談** …実感をもてる話や数字を交えて説得力を高める。
- ・ **聞き手を意識する** …誰に伝えるのかを想像し、その人に届く言葉・表現を選ぶ。
- ・ **自分なりの視点を入れる** …「自分はどう感じたか」「どう考えたか」などを加え、伝え方や表現を工夫して“自分らしさ”を出す。

## まとめ・表現で働かせる主な『見方・考え方』

- ・最も伝えたいこと（主題）を明確にして表現する（**主題設定**）
- ・根拠を示しながら筋道立てて説明する（**論理的思考**）
- ・探究を通してわかったことや自分の考えをまとめる（**要約・統合**）
- ・相手や目的に応じてわかりやすく、効果的に伝える方法を考える（**伝達方法の選択**）
- ・伝えたい内容に合わせて表現方法（言葉づかい、デザイン等）を工夫する（**表現工夫・創造性**）



## 作成物のチェックリスト

- ①文字の見やすさ
  - 大きめの文字（後ろの席からも見えるか）、伝えたい雰囲気合った読みやすいフォントか。
- ②色とデザイン
  - 背景と文字の色にメリハリがあり、使う色は2~3色程度までにしぼり、作品としての印象やテーマが伝わる配色になっているか。
- ③内容の整理
  - キーワードや短い言葉でまとめ、1枚に詰め込みすぎず、伝えたいことが自然な流れで伝わる構成になっているか。
- ④図や写真等の使い方
  - 説明を助けるために図・写真等を入れ、見た人の感じ方を意識して見やすく配置しているか。
- ⑤誤字・脱字
  - 漢字・送りかな・数字・単位に間違いがなく、作品として丁寧に仕上げられているか。



## 発表の仕方のチェックリスト

- ①声の大きさ
  - 後ろの席まで届く声ではっきり話し、伝えたい場面に合わせて声の強さを調整できているか。
- ②話す速さ
  - 早口にならず、聞き手が考える時間をもてるよう、内容に合わせて速さに変化をつけているか。
- ③視線
  - 画面や原稿ばかり見ず、聞き手の方を見て、気持ちや思いを届けようとしているか。
- ④姿勢・しぐさ
  - 背すじを伸ばし、体を落ち着かせながら、伝えたいところでは意味のあるジェスチャーをわかりやすく使っているか。
- ⑤時間配分
  - 決められた時間内に収め、話の流れや見せ場を意識して最後まで言い切れているか。

☆人に見てもらったり、タブレットなどで録画して確認してみてもいいね！

☆「正しくできているか」だけでなく「自分が伝えたいこと」が伝わっているかも確かめてみよう。



# 成長のための振り返りのコツ

～今日の学びを明日につなげる振り返りの4つの視点～

## 『振り返り』と『まとめ』の違いって？

勉強したあとの『振り返り』と『まとめ』について、その違いを意識することで、明日からの学び方が変わったり、知識の身に付き方が向上したりします。

### 「振り返り」ってなに？ ～自分の学びを見つめる時間～

振り返りは、ただの感想ではありません。「次に生かすための作戦タイム」です。主に探究サイクルスキルブックの『学び方』『協働』『思考』のスキルが役立ちます！

## 「振り返り」で自分の成長を確かめて次の目標を立て、

### ～振り返りの4つの視点～

※それぞれの視点は、お互いに関連し、重なり合います！

#### 「できた」を見つける！



前と比べて、できるようになったことや成長したことを見つけます。逆にうまくいかなかったことにも目を向け、どうしてうまくいかなかったかを考えることも大切です。

【例】

「前はできなかったけど、今日は自分で最後までできた！」  
「友だちに聞かなくても考えて答えが出せた。」  
「前よりもうまくできるようになった。」  
「うまくいかなかったけど、どうしてうまくいかなかったか気づけた。」

#### 「やり方」を分析する！



どうやって課題を解決したか、どんな工夫をしたか、どんな見方や考え方を使ったか等を確認します。まずは色々な方法を試してみよう。だんだんと自分に合った方法も見えてきます。

【例】

「図にかいたら分かりやすくなった。」  
「前に習ったやり方を使ったらできた。」  
「まず簡単な場合で考えたら解けた。」  
「友だちの考えを聞いて、やり方を変えた。」

## 『振り返り』の方法

振り返りの方法には、書く以外にも色々な方法があります。

書く

話す

記号 (◎、○、△等)

図・絵

※上の方法に「紙」や「デジタル」も組み合わせると、さらに方法が増えますね！

☆各ステップで  
(必要に応じ)

## 振り返り・評価・改善で働かせる主な『見方・考え方』

- ・他者との途中段階を交流し、相互にブラッシュアップする（調整力・改善・成長志向）
- ・自身の探究サイクル全体や各ステップについて、客観的に振り返る（振り返り）
- ・設定した課題に対してどの程度解決・理解できたか自己評価する（課題達成度・評価）
- ・探究を通して、どのような知識やスキル、考え方が身についたか自覚する（自己理解・メタ認知）
- ・探究活動における自分の役割や他者との関わりについて考える（役割認識・他者理解）
- ・学びを今後の学習や生活にどう生かすか考えたり、状況に応じて学習方法等を調整する（学びの活用・展望・調整）



### 「まとめ」ってなに？ ～わかったことをつなげる時間～

まとめは、バラバラだった情報を整理して、誰にでもわかる形にすることです。主に探究サイクルスキルブックの『思考』『言語』『情報』のスキルが役立ちます！

## 「まとめ」で学んだことを自分の「一生モノ」の武器（知識）にします！

### 「次」につなげる！



どうすればもっと良くなるか、どんな学び方を継続したいか、次にどんなことに挑戦したいか、どんな課題を解決してみたいか、どんな問いが浮かんだか等を考えます。

【例】

- 「次は違うやり方でもやってみたい！」
- 「もっとむずかしい問題にもチャレンジしてみたい！」
- 「今日間違えたところをもう1回やりたい！」
- 「次は自分の考えをみんなに説明できるようにしたい！」

### 「みんな」から学ぶ！



みんなの学び方を参考にしたり、他の人の見方や考えやを聞いて、自分の考えとどこが違うか、どこが良いかを見つけたりし、対話を通して得たことを自分の学びにも生かします。

【例】

- 「〇〇さんの考えの方がわかりやすいと思った。」
- 「自分と違うやり方があっておもしろかった。」
- 「同じ答えでも、考え方や表現方法が違った。」
- 「友だちのやり方をまねしたらできそうだった。」

### 【参考】まとめの視点（前のページ「まとめ・表現」も参考に）

- ①整理してつなげる：図や表、グラフ、文章を使って、わかったことを分かりやすく並べます。思考スキルの比較、分解（⇔統合）、多面的・多角的の3種類を基本に！デジタルもアナログもその時に使いやすいものを選択しよう！
- ②大事なことをつかむ：結局何が一番大切だったのか、「要旨」や「結論」をはっきりさせます。言語スキルを発揮しよう！
- ③生活で使う：勉強してわかったことを、これからの生活や別の勉強にどう生かすか考えます。学び方スキルを発揮しよう！



# 学習の基盤スキル『言語能力』

## ～学びと社会をつなぐ「思考」「つながり」の架け橋

言葉の力「言語能力」は、考えを深めたり、他者と関わり合ったり分かり合ったり、社会の中で自分の思いを伝えたりするために、私たちは、言語を通して情報を理解し、それを基に考え、文章や話し言葉で表現することで、知識を得るとともに自分の考えを形づく。読む・書く・話す・聞く力をうまく使うことができれば、自分の気持ちや考えをまとめたり、人と気持ちを通わせたり、学んだこのつながりを深めることができます。自分の考えを言葉にして表すことは、生成AI時代にこそ不可欠な深い学びを支える基盤となるスキルをヒントに、国語をはじめ、いろいろな教科で意識してスキルを伸ばしていきましょう。

カテゴリー	スキル	どんなスキル？
知識 ・ 技能	語彙・文法	言葉の意味、使い方、文法構造など、言語を理解し運用するための基本的知識
	読解力	様々な文章(生成AI含む)や図表等の資料等の構造と論理展開を正しく把握し、文脈に即して内容を理解する力
	書く技能	適切な語彙、構文、段落構成等を用いて文章を書く技能
	話す・聞く技能	発音、聞き取り、問い返し、簡潔な説明など、基礎的な会話運用能力
思考力 ・ 判断力 ・ 表現力	論理的構成力	主張・根拠・理由・具体例などを筋道立てて整理し、説得力ある説明や主張を組み立てる力
	批判的吟味力	情報やAIの出力を含む多様なテキストを分析し、その信頼性・妥当性を判断したり、本質を見極める力
	編集力(推敲)	文章(生成AI含む)を取捨選択(信頼性の判断)・言い換え・再構成して、文脈や目的に合わせて表現する力
	表現力	自分の考えを持ち、相手や目的に合った構成や言葉づかいで、考えや想いをわかりやすく伝える力
学びに向かう力	振り返り・評価	自分の学び方・感情・つまづき等を言葉で振り返り、よりよい学びにつなげる力
	対話スキル	他者の意見に耳を傾け違いを尊重しながら、対話を通じてお互いの理解を深めていく力
	協働スキル	仲間との関係や協力を深めるために、自分の意見・感情を伝えながら場を調整する力
	発信力	自分の学びや気づき、考え等を他者や社会に向けて、わかりやすく伝えようとする力

※ここで示しているスキルはあくまで例であると同時に、漏れなく重なりなく列挙するものではなく、お互いに

【参考】言語能力についての整理メモ(文部科学省) | PISA調査における読解力の定義、特徴等(文部科学省)

# カブリ

大切な力です。私  
くっていきます。  
とを広げて社会と  
ります。以下のス



## 課題設定

なぜ？不思議！？もやもや、○○がよく  
わからない、もっと調べたい・考え  
たい、感動した...等)



## インプット

読む、聞く等で  
情報・素材を集める



## スループット

情報の整理・分析（内容や構成  
の検討、精査、解釈、推敲等）  
※見方・考え方を働かせる！



## アウトプット

話す、書く等で表現する

## 言語活動フロー

各ステップでは... 振り返り・評価



## チェックリスト

	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 新しく出会った言葉を、意味をたしかめながら正しく使っている</li> <li><input type="checkbox"/> 文法のきまりや言葉の使い方に注意して話したり書いたりしている</li> </ul>
して情報を正確に理解する技能	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 文章や資料の内容を構造的に正しく公平に取り取り、要点をつかんでいる</li> <li><input type="checkbox"/> 指示語や接続語、図表の意味を理解して読んでいる</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 文のつながりや段落構成を考えてわかりやすく書いている</li> <li><input type="checkbox"/> 誤字脱字を見直し、丁寧に適切な表記ができています</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 相手に伝わるように、声の大きさや言葉を工夫して話している</li> <li><input type="checkbox"/> 相手の話をよく聞き、必要に応じて質問やうなずきをしている</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 主張と理由、具体例を明確に区別して、順序よく筋道立てて説明している</li> <li><input type="checkbox"/> 構成や段落のつながりを考えて文章や話を組み立てている</li> </ul>
を見抜く力	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 情報の出どころ（根拠や引用、出典）を確認し、信頼性を自分で判断している</li> <li><input type="checkbox"/> 主張や結論に飛躍や矛盾がないか、データや事実と照らして考えている（妥当性）</li> </ul>
合う形に編集し直す力	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 読み手に不要な部分を削ったり、言い換えたりしている</li> <li><input type="checkbox"/> 目的や文脈に沿うように、段落や文の順序を入れ替えたり、補足したりして整えている</li> </ul>
伝える力	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 言葉づかいや順序を工夫し、相手に伝わるように話したり書いたりしている</li> <li><input type="checkbox"/> 相手の反応や状況に合わせて、言い換えたり補足したりして自分の考えを伝えている</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 自分の考え方や学び方を言葉でふり返り、工夫につなげている</li> <li><input type="checkbox"/> どのように考えたか、自分の思考のプロセスを言葉で説明している</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 相手の言葉をよく聞き、言い換えたり問い返したりしながら理解しようとする</li> <li><input type="checkbox"/> 「それってこういうこと？」等、相手の意図を確かめる言葉を使っている</li> </ul>
する力	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 相手の立場や気持ちに配慮しながら、自分の意見を伝えている</li> <li><input type="checkbox"/> 話し合いの中で、みんなが気持ちよく協力できるような声かけや提案をしている</li> </ul>
する力	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 自分の考えや学びを、相手に伝わるように整理して話したり書いたりしている</li> <li><input type="checkbox"/> 自分の経験や考えを、他の人にも伝わるように共有・発信している</li> </ul>

関わり合うものです。



マンガでわかる！  
『もりの探検冒険記③』  
本の冒険編』はコチラ▽



# 自己成長するた ～読書家になるた

読書習慣が身に付けば、一生モノ！ここでは読書スキルとして、6つの考え方やものの見方、経験等を疑似的に体験（学習）できるよさが読書術を見つけていき、生き方を豊かにしましょう。この世の中に

☆読書スキルは一人一人合うものが違います。また、本のレベルや自分の状況によ

## 深める読書スキル

### アウトプット



読んだ内容を自分の言葉や他の形式で表現し、理解を定着させたり、考えを深めたりしよう！

- ・感想を言う、書く(気づき、学び、共感、疑問、考えたこと等)
- ・書評を書く
- ・関係図を書く
- ・読書日記を書く
- ・続きを創作する
- ・ボイスメモに感想や学びを保存する
- ・要約する
- ・図解する
- ・誰かに紹介(オススメ)する
- ・学んだ内容を生活で実践
- ・感想や要約を発信
- …等

## 主体的な

### 習慣化する

読書を継続的な行動として生活に取り込んでみよう！

- ・毎日〇分と決めて読む(いきなり長時間)
- ・読む時間帯を決める(〇時から)
- ・自分のレベルに合った本を読む
- ・好きなジャンルの本を読む
- ・本屋や図書館へ行ってみる
- ・読んだ成果を見える化する(読書ノート)

### つなげる



読書で得た学びを、既存の知識や経験、自身の未来へ結びつけよう！

- ・知ってること、過去の経験等とつなげながら読む
- ・自分の考えや他の本と比較する
- ・学びや気づきをつなげて構造化する(マインドマップ等)
- ・今後につなげる(新たな目標、チャレンジしたいこと等)
- ・本のエッセンスを活かせる場面を具体的に考える
- ・同じ著者の本や似たジャンルの本を読んでみる(広げ読み)
- …等

### 調整する

読書の目的や状況に応じて、スピード、環境などを適切に調整しよう！

- ・目次から見通しを立てる(読書計画)
- ・毎回「全部読まない」と次の本を読む
- ・緩急をつけて読む
- ・レベルが高・低を交互に読む
- ・目的、関心、レベル等に応じて読む
- ・ジャンルごとに読み方を変える

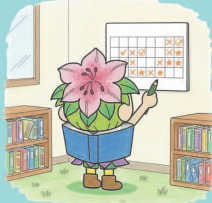
# 読書のスキル

## 6つのコツ



6つのコツ（主・対・深の3視点）を紹介します。読書には、他者のコツがあります。6つのコツを色々と試しながら、最終的には自分に合うコツがある数多の“知”の冒険の主人公はアナタです！めざせ伝説の読書家！コツも変わるので、自分で判断し、カスタマイズさせて使い分けることが大切です。

### 読書スキル



生活に無理なく


（あまり長い時間設定は△）  
（例えば読書タイム、歯磨きの後等）  
読む

- ・色んな場所に本を置いておく
- ・本を持ち歩く
- ・目標の宣言（読書カレンダー等）

…等

### 対話的な読書スキル


#### 本と対話する



読書に対して疑問や意見を持つなど、能動的に対話しながら読み進めてみよう！

- ・本に線やメモを書きながら読む（好き、嫌い、疑問、気づき、学び等）
- ・本にツッコミを入れたり質問したりしながら読む
- ・批判的に読む（主張の妥当性を見極める、他の本とも比べてみる等）
- ・自分の生活や生き方を本を通して問いかけてみる（本を通して自分の価値観や信念に向き合う）
- ・読んでいる内容を自分の言葉で言い換える

…等



読む範囲、環境に調整しよう！


（読みたい箇所だけ読むでもOK）  
「へいけなさい」という考えをやめる

- ・隙間時間に読む
- ・集中できる環境で読む

本を選択する

…等

#### 他者と対話する



他者と感想や意見を交換することで、新たな視点や深い理解を得よう！

- ・本の感想を伝え合う
- ・本の内容を誰かに説明する
- ・オススメの本を紹介（教えてもらう）
- ・考察を伝え合う
- ・読んだ本の内容についてディスカッションをする
- ・ビブリオバトル（書評コンテスト）をする
- ・他者の読書感想文や書評を読んでみる
- ・本の感想サイト等で自分の感想と比べてみる
- ・読書会に参加してみる

…等

# 大阪府情報活用能力ステップシート

分類	項目	STEP1 (めやす：小学1・2年生)	STEP2 (めやす：小学3・4年生)
1 学び スキル	A 課題の設定	身の回りの事象に関する課題を設定できる	地域の事象に関する課題を設定できる
	B 収集	情報を収集する身近な方法を知り、実施できる	情報を収集する複数の方法を知り、実施できる
	C 整理・分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵や図、簡単な表やグラフを用いて情報をまとめることができる</li> <li>共通と相違、事柄の順序など、情報と情報の関係を捉えられる</li> <li>正しい情報があることを知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい情報かどうか確かめようとする</li> <li>情報カードを使って、集めた情報の記録や整理ができる</li> <li>表やグラフなどを用いて情報を整理できる</li> <li>複数の情報から傾向、変化を捉え、共通点や相違点を見いだすことができる</li> <li>全体と中心など、情報と情報の関係を捉えられる</li> </ul>
	D まとめ・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の情報から、わかったことをまとめられる</li> <li>自分の考えを写真や絵、手書き入力等による文字で、表現できる</li> <li>紙芝居、絵本、絵カード、ペーパーサートなどを使って表現できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同一内容について2、3点以上の情報を比較したり、関係付けたりして、新たな意味を見いだせる</li> <li>自分の考えや意見を壁新聞やポスター、リーフレット、スライド等で相手を意識して表現できる</li> </ul>
	E 振り返り・改善	情報活用を振り返り、感想をもつことができる	情報活用を振り返り、改善点を見いだせる
2 学校図書館 活用スキル	F 本やメディアに親しもうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>たくさんの本にふれ、いろいろな本があることを知る</li> <li>読み聞かせ等を通じて、読書を楽しむ</li> <li>読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブックトーク等を通じて、さまざまな本にふれ、その良さを知ろうとする</li> <li>必要な知識や情報を得ることに、読書を役立たせようとする</li> </ul>
	G 図書館資料を利用する力	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識(調べたこと)と体験をつなげられる</li> <li>何かを知りたいときに、学校司書等、学校図書館に関係する人々に自ら尋ねるなど、関わりをもつことができる</li> <li>学校図書館のきまり、本の借り方・返し方を理解して、学校図書館を利用できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えに対する理由や事例(調べたこと)をつなげられる</li> <li>学校図書館にある本の配架や分類の仕方を理解して、学校図書館を利用できる</li> </ul>
	H メディアを活用する力	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然科学の本、図鑑の使い方がわかる</li> <li>抜き書きをしたり、絵や文などを用いたりして、調べたことをまとめる方法がわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>百科事典、国語辞典、漢字辞典、地図、地域資料などの使い方がわかる</li> <li>本の目次や索引の使い方を理解し、さまざまな教科の学習に生かすことができる</li> <li>調べたことや自分の考えをまとめるとき、著作物の引用や出典について明示することができる</li> </ul>
	I 公共図書館等を活用する力	公共図書館の利用方法を知り、利用できる	各種施設(公共図書館・博物館・資料館)の特徴を知り、どこへ行けばどんな資料が得られるか理解することができる
3 ICTの 基本的操作 スキル	J 入力	起動や終了、ログイン・ログアウト、写真撮影、文字のフリック入力又は手書き文字自動変換機能などの基本操作ができる	キーボードで漢字や句読点等を含めた文章入力ができる又は別の方法で同程度の文章入力ができる(8文字程度/1分間)
	K アプリケーション等の使用・操作	標準仕様のWEBブラウザやカメラ機能など、基礎的なアプリケーションを操作できる	標準仕様の文章作成、表計算、プレゼンテーション系アプリケーション、ノーコードのプログラミングソフトを操作できる
	L 検索	インターネット上の情報を閲覧することができる	キーワード検索ができる
	M 保存	ファイルの呼び出しや保存ができる	クラウドを用いて、ファイルの検索や共有ができる
4 情報モラル・ 情報 セキュリティ	N 情報の取り扱いに関する理解	人の作った作品や情報を大切にすることや、その情報をむやみに他者に伝えてはいけないことを理解できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他の情報を発信、やり取りする場合の責任を理解できる</li> <li>他人が制作した情報を活用する際はURL等を含めた引用を明記する必要があることを知る</li> </ul>
	O 情報セキュリティに関する理解	情報機器を使用する際の基本的なルールに基づき正しく使用できる	パスワードを人に教えないなど、情報を守るための基本的な方法を知る
	P 情報モラルなどに配慮しながら情報を活用する力	<ul style="list-style-type: none"> <li>パスワードやIDを自分で適切に管理・使用できる</li> <li>ルールやマナーを守り、クラウドやインターネットの情報を閲覧できる</li> <li>インターネット上に正しくないものがあると理解できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他の個人情報や教えたり、不審なサイトにアクセスしたり、不審なアプリケーションをダウンロードしたりすると危険であることをわかったうえで、インターネットを利用できる</li> <li>インターネット上にある正しくないものを見極めようとする</li> <li>SNSの便利さと危険性について知る</li> </ul>
	Q 情報を適切に取扱いながら情報社会に参画しようとする態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他の大切さを理解する</li> <li>情報や情報技術を使おうとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他の情報の大切さを踏まえ、適切に行動しようとする</li> <li>情報や情報技術、生活に生かそうとする</li> </ul>
5 プログラ ミング	R 問題解決の手順を考える力	手順を順序立てて説明できる	手順を図解し、説明できる
	S プログラミング的思考	コンピュータには明確な手順を命令する必要があることに気づく	意図した簡単な動作を実現するために、順序を考えたり、くりかえしたりする命令の組み合わせを考えることができる
	T 分解	動きはいくつかの小さな動きに分けられることに気づく	取り組みやすいように小さな動きに分解できる
	U 抽象化	コンピュータに命令するための記号があることに気づく	コンピュータに命令するための記号や図に置き換えることができる
	V 組み合わせ	ものごとには順序のある場面があることに気づく	意図した活動を実現するための命令の組み合わせを考案することができる

STEP3 (めやす：小学5・6年生)

社会の事象に関する課題を設定できる

調査を設計し、情報を適切に収集・検証できる

- 複数の表やグラフを用いて整理できる
- 情報が信頼できるものか確かめることができる
- 得た情報について論理的に考察し、新たな意味を見いだせる
- 原因と結果など情報と情報との関係を捉えられる

情報を取捨選択し、スライドや文書作成、表計算ソフトなどの複数のソフトで相手や目的に応じて表現できる

インタビューなどで聞いたことや見学・観察などの体験から得られた情報と、統計資料などから読みとったことを関連づけて報告文を書いたり、ポスターセッションなどを行うことができる

情報活用を振り返り、効果を見いだせる

**実践事例**

小4[国語] 事実をわかりやすく報告しよう

小4[音楽] 歌声のひびきを感じ取るよう

小3[算数] 長いものの長さをはかり方と表し方

小6[算数] 算数で読みとこう

小5[国語] 新聞記事を読み比べよう

小5[社会] これからの工業生産とわたしたち

STEP4 (めやす：中学生)

社会課題に関する課題を設定できる

統計的な調査も含めて設計し、情報を効果的に収集・検証できる

- 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係を捉えられる
- 目的に応じて、複数の表やグラフを用いて情報を統計的に整理・分析することができる
- 目的に応じて、収集した資料を多面的・多角的に考察し、新たな意味を見いだせる

様々な相手や目的に応じて情報をまとめ、WEB等で適切且つ効果的に表現できる

情報活用を振り返り、観点を決めて評価し、改善できる

**実践事例**

中1[社会] 世界の諸地域

中2[理科] 電流とその利用

中3[国語] 古典に学ぶ「論語」

・ビブリオバトル等を通じて、本の面白さや魅力を知り、伝えようとする

・読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づく

・さまざまな資料、データから読みとった複数の情報をもとに、自分で考えを構築できる

・日本十進分類法(NDC)のしくみを理解して、学校図書館を利用できる

・年鑑、新聞、雑誌などの使い方がわかる

・参考にした資料について、参考文献リスト等を作成することができる

目的に応じて、各種施設(公共図書館、博物館、資料館)の資料等を利用することができる

**実践事例**

小3[理科] 昆虫をそだてよう

小4[理科] オリジナル星座をつくろう

小4[国語] 生き物のひみつリーフレットを作ろう

小4[国語] アップとルースで伝える

小5[国語] 環境問題について報告しよう

小6[総合的な学習の時間] 職業紹介パンフレットを作ろう

小5[国語] 総合的な学習の時間 伝記を読みながらリーフレットを作ろう

小6[国語] 防災ポスターを作ろう

・本やメディアを適切に選択し課題を解決しようとする

・自分の考えを広げたり深めたりすることに、読書を生かそうとする

・考えの根拠として、さまざまな資料、データから読みとった複数の情報を活用し、自分の意見を表現できる

・レファレンスサービスの活用方法について理解して、学校図書館を利用できる

・参考図書などの使い方がわかる

・目的意識や他者意識をもって工夫して情報を発信したり、フィードバックをもらって改善したりすることができる

・目的に応じて必要な学校図書館メディアを複数選択し、比較検討することができる

自ら調べたいことや知りたいことを解決するために各種施設(公共図書館、博物館、資料館)を利用し、課題解決のために活用することができる

**実践事例**

中1[理科] いろいろな生物とその共通点

中2[総合的な学習の時間] SDGs

中2[家庭] 幼児の生活と家族

中3[社会] 世界の諸地域

キーボードで漢字や句読点等を含めた文章入力ができる  
又は別の方法で同程度の文章入力ができる  
(16文字程度/1分間)

目的に応じて様々なアプリケーションを選択し、操作できる

AND、ORなどの論理演算子を用いた検索ができる

クラウドを用いて、ファイルやフォルダの管理ができる

**実践事例**

小4[理科] 地面を流れる水のゆくえ

小3[社会] 店ではたらく人と仕事

小3[総合的な学習の時間] 将来の仕事を紹介しよう

小5[社会] これからの工業生産とわたしたち

小6[社会] 世界のなかの日本とわたしたち

小6[算数] データを整理・分析しよう

キーボードで漢字や句読点等を含めた文章入力ができる  
又は別の方法で同程度の文章入力ができる  
(25文字程度/1分間)

複数のアプリケーションを関連づけて操作できる

目的に応じて適切に検索できる

クラウドを用いて、規則性に従ったフォルダをつかったり、圧縮やパスワードによる暗号化などを用いた管理ができる

**実践事例**

中1[理科] 植物の分類

中2[数学] 図形の調べ方

中3[国語] 情報を関係づける

著作権等の情報に関する権利と重要性について理解できる

セキュリティソフトやフィルタリングを適用させるなど、情報を守るための手段や方法を知り、使用できる

- ルールやマナーを守り、チャットやクラウドなどを適切に利用し、他人とやり取りができる
- 社会に広がっている情報・ニュース等が事実に基づいているか判断したり、正しい情報について調べたりすることができる

情報に関する自他の権利があることを踏まえ、適切に行動しようとする

情報や情報技術を、よりよい生活に生かそうとする

**実践事例**

小4[道徳] SNSでの伝え方について考えよう

小6[総合的な学習の時間] 言葉や行動について考えよう

発信した情報等について情報社会に及ぼす影響を理解できる

セキュリティソフトやフィルタリングなど、情報セキュリティ確保のための対策を自ら確認し、実施できる

- 生成AIの仕組み、利便性、リスク、留意点がかかる
- より良い回答を引き出すための生成AIとの対話の方法がわかる
- 目的に応じてアプリやインターネット上のサービス等を選択して安全に利用できる

情報に関する個人の権利と重要性を踏まえ、適切に行動しようとする

社会は互いに法律やマナーを守ることで成り立っていることをふまえて、行動しようとする

情報や情報技術を、持続可能な社会づくりに生かそうとする

**実践事例**

中3[国語] 情報との付き合い方を考えよう

フローチャートなどにより表現できる

意図した複雑な動作を実現するために、条件によって動きを変えたりする命令の組み合わせを考えることができる

複雑な動きを、取り組みやすいように小さな動きに分解できる

目的や意図に合わせ、必要な動きを見出し、コンピュータに命令するための記号や図に置き換えることができる

意図した活動を実現するために、複数の命令を組み合わせてより効果的な組み合わせを考えることができる

**実践事例**

小4[図画工作] まほうの花束

小4[総合的な学習の時間] ロボット探検機

小5[算数] 体積

小5[理科] ぼくらの探究レポート

アクティビティ図などにより表現できる

生活や社会の中からプログラムに関わる問題を見いだして課題を設定し、プログラミング的思考等を発揮して解決策を構想したり、処理の流れを図などに表し思考等を通じて解決策を具体化できる

計測・制御、双方向性のあるコンテンツの制作、ネットワークやデータを活用して処理するプログラミングを行うために、必要な動きに分解できる

目的や意図に合わせ、必要な動きを見だし、課題解決に必要な機能をプログラミング言語等を用いて表現することができる

安全・適切なプログラムとなるように、複数の命令を組み合わせたたり、他者と協働して粘り強く、より効果的なプログラムとなるよう評価、改善及び修正を行うことができる

**実践事例**

中3[技術・家庭] Scratchで課題を乗り越えよう

中3[技術・家庭] 計測・制御のプログラムによる問題解決

# 探究サイクルの中でのICT活用 こんな良いことがあるよ！



## 探究サイクル×ICT

① 課題設定  
ICT活用で..  
多様な課題  
データ等で

例  
・イン  
ある  
・アン  
られ

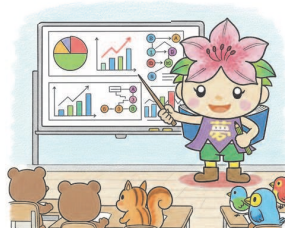


### ④ まとめ・表現

ICT活用で...

豊かな表現を短時間で作成し、広く発信したり、自らの学びを振り返ったりできる

- 例
- ・プレゼンアプリ（PowerPoint、Keynote等）で、見やすいスライドやポスターを作れる。（一度作ると、他にも活用できるなど、再現性も高い）
  - ・動画や音声アプリで、発表を工夫したり様々な方法で表現できる。
  - ・学習記録アプリ（Excel、OneNote、Numbers、カレンダー等）やWebサイトにまとめて、友だちや先生に共有したり、自分の学びをふり返ったりできる。



③ 整理  
ICT活  
多様

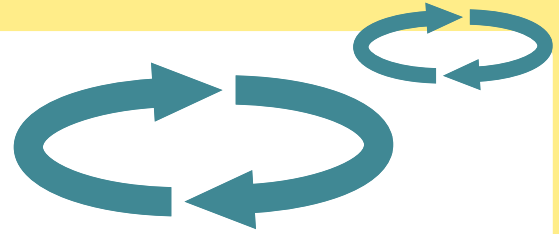
例



## 設定（問いを立てる）

問題に出会うことができる

課題を明確化し、課題解決の見通しを鮮明にできる



インターネットやニュースサイトを見て、いまの社会（日本、世界）や身近な生活に問題を見つけられる。

アンケートや意見収集アプリで友だちや地域の人を考えを集め、問いをはっきりさせる。



## ② 情報収集

ICT活用で...

多種多様な情報を、高速に、時間や空間を超えて収集・蓄積できる



- 例
- ・インターネット検索で、たくさんの情報をすばやく調べられる。
  - ・電子図書館やデジタル教科書を使って、場所や時間に関係なく資料を手に入れられる。
  - ・動画やインタビュー記録を見て、いろいろな人の意見や体験を知ることができる。



## 整理・分析

ICT活用で...

大量で複雑な情報の整理や、整理した情報の加工・分析が容易に

- ・表やグラフづくりアプリ（Excel、Numbers等）で集めたデータをわかりやすく整理でき、分析もしやすくなる。
- ・ふせんアプリ（PowerPoint、Whiteboard等）で情報をグループに分けたり、つながりを考えたりできる。

※その他、AIを使って要約や整理を支援してもらうなども考えられます。（正しさの判断は必須です。）



# 誰と、どんな形

～目的をもって誰と学ぶかを選ぶと、

## 学習形態を選ぶ

### ◆ 個人で学ぶ

→じっくり考え、自分に向き合う時間。  
考えをまとめ、自分の力にしよう！

### ◆ ペアで学ぶ

→少人数で意見交換。すぐ行動でき、  
相手の考えも聞きやすい！

### ◆ グループで学ぶ

→いろいろな考えを出し合い、みんなで  
まとめる。協力する力も育つ！

## 誰と学ぶかを選ぶ

### 同じ・似た考えの人

微妙な違いに気づいて、  
学びが深まる。同じ考え  
れて安心や自信にも！



### その学習が得意な

理解できるチャンス！  
あからないところを教  
もらおう！



## 学び終えたら振り返りも

できた「一人で自分の考えをまとめられた！」  
やり方「今日の学習のしかた、どうだった？」  
次「次はどんな学び方をしてみたい？」  
みんな「〇〇さんのやり方が参考になった！」

## 選び方のポ

- ✓「今」の課
- ✓自分にとっ
- ✓いつも同じ
- ✓新しい相手

# 態で学ぶ？

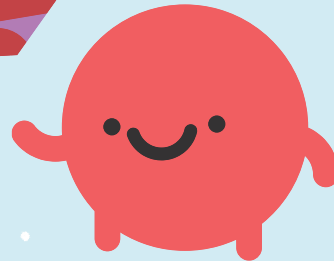
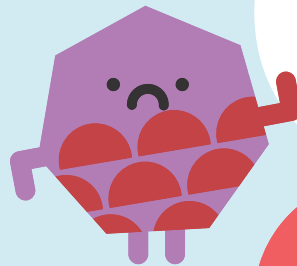
もっと学びが楽しくなる!~

と

えに触

違う考えの人と

新しい発見！  
考えが広がるチャンス。



仲のよい人と

安心して学べる。  
心理的安全バツグン！

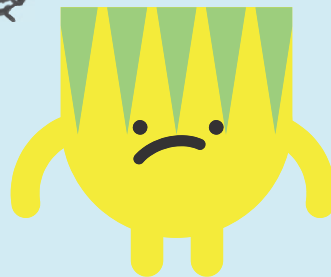


人

えて

その学習が苦手な人と

真の理解のチャンス！  
教えることで自分ももっと  
わかる！



イント！（選んだ理由は言えますか？）

題や目的に合う学び方を選ぼう！途中で変わってもOK！

て「今」、どんな学びが必要かを考えよう！

人・同じやり方では、もったいない！

や方法にもチャレンジしてみよう！



# 対話するスキル

～ちがいを大事にし、みんなでよりよい結論をつくる話し合い～

## 対話とは？

— 相手を尊重し、“理解したい” がスタート！ —

対話とは、自分と相手の考えを出し合い、聞き合いながら、よりよい考えや答えをみんなで作っていくことです。

ゲームのように「勝ち負け」を決めるものではありません。おたがいのちがいを尊重しあうことで、新しいアイデアや考えが生まれます。

対話を重ねると…

- ・相手の話をしっかり聞く力
- ・自分の考えをわかりやすく伝える力
- ・みんなで協力して解決する力 等

が少しずつ育っていきます。

これらの力は、学校の学びや生活だけでなく、将来、社会で仕事をしたり、人と協力して何かをつくりあげたりするときにも大切な力になります。

## 対話の進め方（例）

### ①計画を立てる

例：「話し合う目的は○○だね。」「決め方は…」「話し合う順番は…」「役割分担は…」等

### ②計画にそって話し合いを進める（意見を出し合う）

例：「○○についてはみんな納得かな？」「次は○○を決めよう。」「話を元に戻さない？」等

### ③整理してまとめる

例：「○○と関連づけると…」「○○という点で比べると…」「みんなの意見をまとめると…」等

### ④実践する・振り返る

例：「決まったことをやってみよう。」「うまくいったところは…」「次はどうするともっとよくなる？」等

## みんなで“決める方法”を確認しよう！

あらかじめ、どんな方法で決めるのかをみんなで確認しておく、スムーズに話し合うことができます。決める方法には以下のような方法があります。

### ①多数決

みんなの意見を“賛成の数”で決める方法で、短時間で決められます。

次の条件がそろっているときに使うようにしましょう。

- ・誰かが大きな不利益を受けない
- ・「多数決で決めること」にみんなが納得している

※多数決には、単純多数決の他に、決選投票（上位2つに再度投票）や順位決め（点数方式）等があります。

### ②全員一致（合意形成）

一人ひとりの意見を調整しながら、みんなが納得できる案（納得解）を見つける方法。

時間はかかりますが、より多くの人々が満足できる方法です。

※限られた時間で納得解を見出すことが難しい場合は、暫定的な案を決めて実践し、その結果を振り返りながら、必要な見直しを加えていく等の進め方も考えられます。

## 対話スキル

他者の意見に耳を傾け違いを尊重しながら、対話を通じてお互いの理解を深めていく力

マンガでわかる！  
『もりの探究冒険記②  
対話の魔法編』はコチラ▽



## 対話の3つの大前提（対話ルール）

この3つのルールは、対話の成功に必要な土台です。

- ①**敬意・気配り**：お互いの人格と意見を尊重する気持ちが最も大切です。
- ②**傾聴・共感**：相手の話に耳を傾け、その気持ちを理解しよう努めましょう。  
（話はさえぎらずに最後まで聞く、相手の立場に立って聞く、うなずきながら聞く、考えや理由等をたずねる等）
- ③**全員参加**：誰もが安心して発言できる場をつくりましょう。（パスもOK）



## 対話をもっとうまく進めるための5つのコツ

上記のルールを守った上で、対話をよりスムーズで効果的なものにするための具体的なコツです。これ以外に自分で見つけたコツも書き足してみよう！

### ①目的、時間、条件を確認する

話し始める前に、「何のために話すのか」「いつまでに終わらせるのか」等をはっきりさせ、全員で共有しましょう。

### ②役割を分担する

進行役（ファシリテーター）、記録係（書記）、時間係（タイムキーパー）など、役割を決めるとスムーズに進みます。

### ③問いかけを工夫する

「はい/いいえ」で答えられないような質問（例：「どうすればもっと良くなるかな？」）を通して、より深い考えを引き出し、たがいの考えをくわしく知れます。

### ④意見を見える化する

話し合ったことをホワイトボードやふせんに書き出し、みんなで共有すると、考えが整理され、新しいアイデアが生まれやすくなります。

### ⑤「もし」で自由に発想してみる

「もし〇〇ができたとしたら？」と仮定の質問をすることで、現実の条件を一度忘れ、自由な発想を促せます。











### 【属性の種類】

#### ー思考属性ー

比較系・・・■オレンジ

比べる

分解⇄統合系・・・▲青

細かく分ける (⇄まとめる)

多面・多角系・・・●ピンク

いろいろな視点で考える

特殊系・・・★紫

#### ーその他の属性ー

学び方属性・・・♠赤

自分にぴったりのやり方で学ぶ

言語属性・・・♣緑

言葉の力

情報属性・・・◇水色

情報(デジタル)をうまく使いこなす

協働属性・・・♡黄色

違いを組み合わせで新しい価値を生む

☆スキルアイテムをカード用に印刷したい人は、下のQRコードからカード印刷用データにアクセスしよう！  
(A4両面印刷で名刺サイズの大きさに印刷できます！)



シークレットアイテム名 ( )

【スキルアイテムの説明】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

【使用例】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

👤 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

シークレットアイテム名 ( )

【スキルアイテムの説明】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

【使用例】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

👤 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

シークレットアイテム名 ( )

【スキルアイテムの説明】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

【使用例】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

👤 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

シークレットアイテム名 ( )

【スキルアイテムの説明】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

【使用例】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

👤 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

シークレットアイテム名 ( )

【スキルアイテムの説明】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

【使用例】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

👤 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

シークレットアイテム名 ( )

【スキルアイテムの説明】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

【使用例】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

👤 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

シークレットアイテム名 ( )

【スキルアイテムの説明】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

【使用例】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

👤 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

シークレットアイテム名 ( )

【スキルアイテムの説明】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

【使用例】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

👤 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

シークレットアイテム名 ( )

【スキルアイテムの説明】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

【使用例】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

👤 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

シークレットアイテム名 ( )

【スキルアイテムの説明】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

【使用例】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

👤 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

シークレットアイテム名 ( )

【スキルアイテムの説明】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

【使用例】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

👤 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

シークレットアイテム名 ( )

【スキルアイテムの説明】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

【使用例】

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

👤 熟練度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



# スキルアイテム ～3つのシーンで～

## シーン①：個人タクティカル

自分一人で学びの作戦を立て、発動！



今日の装備：めあてに合わせて使うカードを選ぶ



スキル発動宣言：使う前にコールして思考を意識化



属性コンボ：複数カードを組み合わせることで思考を深める

## シーン②：ログ

使った分だけ「成長



熟練度ログ  
記録して



称号獲得  
使用でマ

※ここで示しているカードの使用方法はあくまで一例です。  
みんなの創造性を発揮して、様々な使い方に発展させていこう！  
(オリジナルの使い方はこのページにメモしておこう。)

# カード活用ガイド

## 思考を深めよう！～

### コレクション

「長」を形に残そう！



「長」：使用回数を  
見える化

「長」：一定回数の  
スター認定

### シーン③：ギルドコミュニティ

仲間と一緒に「スキル」を広げ、進化させる！



スキルシェア：得意な子が  
スキルを教え合う



新アイテム創造：必要に応  
じて新スキルを開発



リス博士

▷探究の世界に住んでいる物知りなリス。色々なスキルアイテムの発明家でもある。

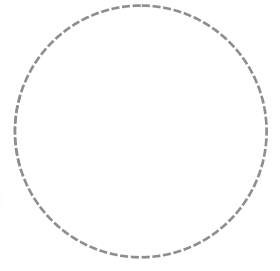


# 探究クエスト ログ①



冒険者名：  
 クエスト開始日：  
 クエスト終了日：

自分が探究したい課題(クエスト名)や探究で得たこと等はクエストログに冒険の証としてメモしておこう！



クエスト名 (今回の探究課題)

クエストで主に使ったスキルアイテムと使った感想 (コツ、次使う時のヒント等)

スキルアイテム名
使った感想

スキルアイテム名
使った感想

スキルアイテム名
使った感想

スキルアイテム名
使った感想

冒険のあしあと (クエスト中の気づきや学びのメモ)

ひらめきの結晶 (クエストの結論を簡単にまとめよう)



# 探究クエスト ログ②

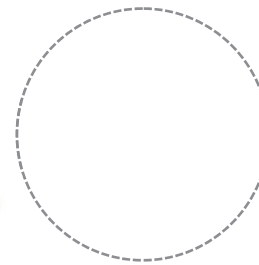


冒険者名：

クエスト開始日：

クエスト終了日：

自分が探究したい課題(クエスト名)や探究で得たこと等はクエストログに冒険の証としてメモしておこう！



クエスト名 (今回の探究課題)

クエストで主に使ったスキルアイテムと使った感想 (コツ、次使う時のヒント等)

スキルアイテム名
使った感想

スキルアイテム名
使った感想

スキルアイテム名
使った感想

スキルアイテム名
使った感想

冒険のあしあと (クエスト中の気づきや学びのメモ)

ひらめきの結晶 (クエストの結論を簡単にまとめよう)

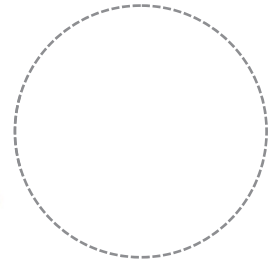


# 探究クエスト ログ③



冒険者名：  
 クエスト開始日：  
 クエスト終了日：

自分が探究したい課題(クエスト名)や探究で得たこと等はクエストログに冒険の証としてメモしておこう！



クエスト名 (今回の探究課題)

クエストで主に使ったスキルアイテムと使った感想 (コツ、次使う時のヒント等)

スキルアイテム名
使った感想

スキルアイテム名
使った感想

スキルアイテム名
使った感想

スキルアイテム名
使った感想

冒険のあしあと (クエスト中の気づきや学びのメモ)

ひらめきの結晶 (クエストの結論を簡単にまとめよう)



# 探究クエスト ログ④

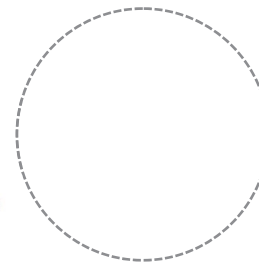


冒険者名：

クエスト開始日：

クエスト終了日：

自分が探究したい課題(クエスト名)や探究で得たこと等はクエストログに冒険の証としてメモしておこう！



クエスト名 (今回の探究課題)

クエストで主に使ったスキルアイテムと使った感想 (コツ、次使う時のヒント等)

スキルアイテム名
使った感想

スキルアイテム名
使った感想

スキルアイテム名
使った感想

スキルアイテム名
使った感想

冒険のあしあと (クエスト中の気づきや学びのメモ)

ひらめきの結晶 (クエストの結論を簡単にまとめよう)

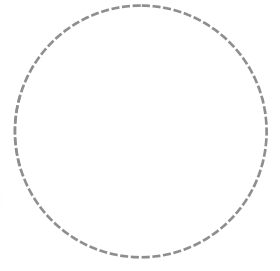


# 探究クエスト ログ⑤



冒険者名：  
 クエスト開始日：  
 クエスト終了日：

自分が探究したい課題(クエスト名)や探究で得たこと等はクエストログに冒険の証としてメモしておこう！



クエスト名 (今回の探究課題)

クエストで主に使ったスキルアイテムと使った感想 (コツ、次使う時のヒント等)

スキルアイテム名
使った感想

スキルアイテム名
使った感想

スキルアイテム名
使った感想

スキルアイテム名
使った感想

冒険のあしあと (クエスト中の気づきや学びのメモ)

ひらめきの結晶 (クエストの結論を簡単にまとめよう)

# 守口市教育委員会公式キャラクター プロフィール



## 名前

夢と学びを育てる森の住人

もりもり -morimori-

## すきなもの

ノート、ペン(特に虹色)、  
ごはん

## すきなコト

考える、書く、食べる、  
運動

夢と志を胸に、未来を切り拓く守口市の子どもたちをイメージした、前向きで元気いっぱいの森の住人。胸に輝く「夢」の文字が書かれたM字型のスリットの入った服をよく着ている。お気に入りの虹色のペンを手に、気づいたこと、考えたことをいつも書きとめている。背中には羽根のように開く本を背負い、気になったら「調べる・書く・考える」をくり返しながら学び続けている。(背中の本はいつでもはずせる。)頭に咲くのは、守口市のシンボル「さつき」の花。今日もりもりは、学びの芽を大切に育てている。



## マンガでわかるシリーズ版 もりもり(エルフVer)

『探究サイクルスキルブック』を開いたとたん、もりもりは不思議な光につつまれ、探究の世界へ迷い込む。気がつくやうに、エルフの姿に変身したもりもり。耳はとがり、瞳はあざやかなグリーンに。それは「なんで?」「たしかめたい!」を感じとる探究アンテナのしるしで、心の中にあつた探究心が解き放たれる。

## 名前

サクラのように舞い上がる好奇心を持つもりもりの仲間

ワクワク -wakuwaku-

## すきなもの

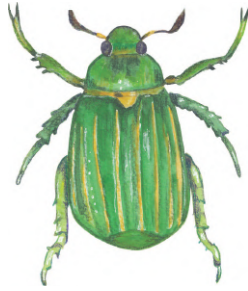
サクラ、風(特に春の)、空

## すきなコト

空を飛ぶ、発見、出会い

もりもりと同じ森に暮らす、好奇心いっぱいのもりもりの友だち。頭に咲く桜の花は、ワクワクのきれいでまっすぐな心そのもの。ひらひらと風にゆれながら、「これなあに?」「やってみよう!」という知りたい気持ちを次々と咲かせている。トレードマークのマントを羽ばたかせ、気になることがあれば、森の外の世界へもひとつ飛び。新しい出会いや発見を毎日楽しんでいる。





子どものころ、私は「なぜ?」「どうして?」の連続でした。夏休みに昆虫採集をしては「どうしたら元気に長く育てられるんだろう?」と考え、空を見上げて「なぜ雨は降るの?」と親と語り合う。気づけば、遊びも勉強も、問いかけから始まる小さな冒険でした。気になったことを調べたり、試したり、うまくいかなくてまたやり直したり。正解を当てるためではなく、ただ夢中になって確かめてみる——それが、私にとって一番の学びだったのです。

ある時はふと、「勉強って、何のためにやっているんだろう?」と自分に問いかけたこともあります。テストでいい点をとるため? 将来の仕事のため? でも本当は、「知らなかったことがわかるっておもしろい!」とか「できなかったことができるようになるってうれしい!」という体験そのものが、勉強の本当のごほうびだったのだと、あとで気づきました。

この「探究サイクルスキルブック」には、そんな小さな冒険を後押しするためのヒントをめいめいづいたのせました。勉強がうまくいかずに悩んでいる人も、もともと自分の学びを広げたい、深めたいと感じている人も、きっと何か手がかりになると思います。

冒険の主役は、この本でも先生でもなく、親でもなく、あなた自身です。あなたの問いや発見が、ページに新しい物語をきざんでいきます。ここに書かれたスキルを手がかりに、ノートや心の中に、自分だけの「探究のスキルブック」を増やしていただく。

学びは、未来につながる冒険です。ドキドキしたり、時につまずいたり、でも一歩進むたびに確実に世界は広がっていく! 今日という日が、「探究日和」になりますように。

(文: 教育センター 担当主任)

## INFORMATION

### 探究サイクルスキルブック (第3版: 令和8年5月)

探究サイクルスキルブックのデジタル版は、守口市のみなさんのiPadのL-Gateにも配信しています。また、守口市教育センターのホームページにも掲載していますので、そちらでもぜひ!

デジタル版はコチラから



発行: 守口市教育センター(初版発行: 令和7年11月) 制作: 番匠 祐貴(教育センター 主任)

所在地: 〒570-8666 守口市京阪本通2丁目5-5 TEL: 06-6997-0703

WEB: <https://www.city.moriguchi.osaka.jp/kakukanoannai/moriguchicitykyoikucenter/index.html>

・本教材の著作権は、守口市教育センターが保有しています。  
 ・本教材は、児童・生徒・保護者への啓発・教育を目的として、無償で提供する場合に限り、自由に利用することができます。それ以外での2次利用はおやめください。